

第57回聖書和訳頌徳碑記念式典 ・音吉像除幕式 ご案内

2018年8月20日
一般財団法人日本聖書協会

来る10月5日(金)、「第57回聖書和訳協力者頌徳記念式典」が開催されます。

明治以降本格化する聖書の日本語への翻訳事業の端緒となった現存する最古の和訳聖書ギュツラフ訳『約翰福音之傳』(1837年)、その翻訳に携わった現・愛知県美浜町小野浦出身の日本人、岩吉(岩松)、久吉、音吉(乙吉)の業績を憶え、毎年記念式典が開催されています。記念碑の前で数奇な運命を生きた日本人の働きに思いを馳せ、神に感謝をささげたいと存じます。

今年は、森下辰衛氏(三浦綾子読書会代表・三浦綾子文学館特別研究員)による記念講演「カシコイモノに出逢う旅～三浦綾子『海嶺』より」が行われます。そして、今年新たに記念碑の傍に建立された「音吉像」の除幕式も執り行われます。記念式典後は、会食の後、再び森下辰衛氏による講演を計画しています。ご参加は無料です(昼食込 ※要事前申込)。

ぜひご出席くださいますようご案内申し上げます。



聖書和訳頌徳記念碑

聖書の翻訳に協力した小野浦出身の船乗りたちを記念し、1961年、日本聖書協会を中心として、愛知県、名古屋市、美浜町、財界、その他各方面の協力と援助を得て建立されました。1980年には周囲が整備され、小公園のようになりました。

日時: 2018年 **10月5日(金)** 午前10時～

場所: **聖書和訳頌徳記念碑前**

(愛知県知多郡美浜町小野浦福島)

※式典後、小野浦館(道路を挟んだ向かい側)にて昼食をご用意いたします。食事の後、森下辰衛氏講演会「熱田裁断橋物語と三浦綾子の聖書観」を開催します。午後2時終了予定。

※準備の都合上、必ず事前にお申し込みください。

※未就学児の参加はご遠慮ください。

■**申込締切 2018年9月21日(金) 当協会着**



最古の和訳聖書ギュツラフ訳『約翰福音之傳』
日本聖書協会聖書図書館蔵

お申込・お問い合わせは

JBS 一般財団法人 日本聖書協会

〒104-0061 東京都中央区銀座 4-5-1 聖書館ビル

日本聖書協会

検索

広報担当 (柳澤・加藤)

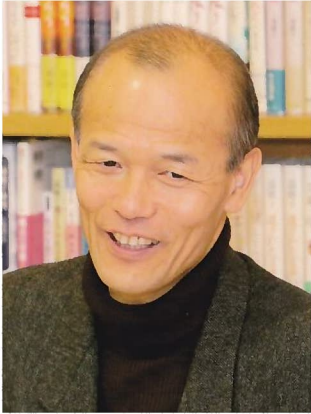
<http://www.bible.or.jp/>

Tel.03-3567-1988

Fax.03-3567-4436

E-mail: info@bible.or.jp

プロフィール



森下 辰衛

(もりした たつえ)

1962年岡山県生まれ。1992年から2006年3月まで福岡女学院短大および大学で日本の近代文学やキリスト教文学などを講義。2001年より九州各地で三浦綾子読書会を主宰、2011年秋より同代表。

2006年、家族とともに『氷点』の舞台見本林のある旭川市神楽に移住し、三浦綾子文学館特別研究員となる。2007年、教授の椅子を投げ捨て、福岡女学院大学を退職して以来、研究と共に日本中を駆け回りながら三浦綾子の心を伝える講演、読書会活動を行なっている。

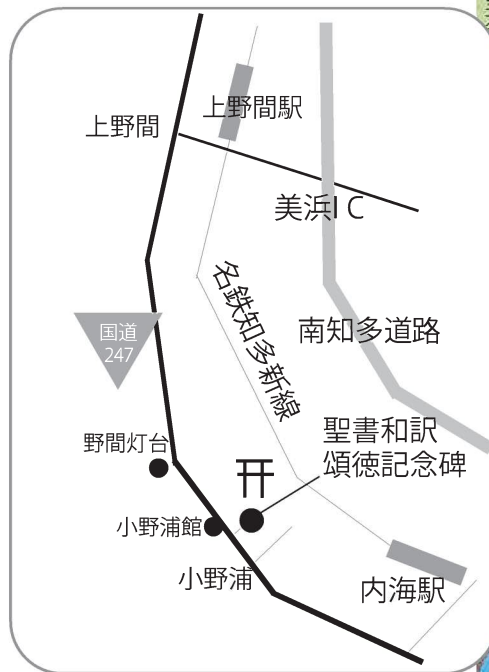
著書に『「氷点」解凍』（小学館）、編著監修に『三浦綾子366のことば』『水野源三精選詩集』（いずれも日本基督教団出版局）がある。NHKラジオ深夜便明日への言葉、テレビライフラインなどに出演。

■会場へのご案内■

電車でお越しの場合:名鉄 知多新線終点 内海(うつみ)駅下車、車で約5分。

お車でお越しの場合:南知多道路美浜I.C.を出て、出口信号交差点を右折し県道小鈴谷河和線を約3km上野間信号交差点を左折し国道247号を南へ約6.5km。[国道247号・小野浦交差点手前(北西)200m 小野浦館向かい]
※記念碑周辺、国道247号沿いの小浦区有地に駐車できます。

昼食準備の都合上、ご出席される方は、全員のお名前とご連絡先を、必ず事前にお知らせください。



▼ 出席申込書 FAX送付先：03-3567-4436 ▼

出席申込書

2018年 月 日

10月5日(金)、「第57回聖書和訳頌徳碑記念式典」に出席を希望します。

お名前

計(名)

ご所属 (教会・団体名など)

ご住所 〒

電話番号 ()